

西洋館保存活用整備事業

－No.22 入間市－

【事業の目的】

本市は首都近郊に位置していますが、人口流出や少子高齢化の進行が課題となっています。まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標の一つに「まちの魅力を活かす」を掲げ、シティセールスを推進することで、まちの魅力を発信し、入間市で「暮らしてみたい」、「子育てしたい」と思われるまちづくりを目指しています。このことから、貴重な近代化遺産を地域資源として活用して観光客を誘致することを、本市に住んでみたいと思わせる、いわば「下見」、「プレゼンテーション」の機会として位置付け、移住促進を図ります。

【事業の内容】

入間市の近代史を象徴する歴史的遺産である「旧石川組製糸西洋館」を改修し、貴重な地域資源として整備することで、地域の歴史を知る場や観光スポットとして市の魅力を発信するとともに、シティセールスの拠点として多様な活用を図ります。具体的には、大正時代の雰囲気の色濃く残す建物を生かして、ギャラリーやドラマ・CM・映画等のロケ地としての活用促進、コンサートや展示会、入間市の歴史・文化に関する講座や講演会を定期的を開催することで、西洋館の魅力を発信します。

また、周辺には、旧黒須銀行等の市の近代史を象徴する文化財等が点在していることから、西洋館を中心に、それらを有機的に結び付けた近代史散策コースとしてミニ観光ツアーも実施する予定です。

【事業年度】

平成 29 年度

【予算額(千円)】

99,185千円

【財源】

地方創生拠点整備交付金（国）、社会教育債、一般財源（市）

【事業実施に至った背景・経緯】

国登録有形文化財である西洋館は、大正 10 年（1921）頃に石川組製系の迎賓館として建てられた洋風建築物です。戦後の進駐軍による接收などがあり、創建当初の状態を良好に保持したまま今日まで守り伝えられてきており、当時の入間市の繊維業や石川組製系の繁栄を物語る歴史的遺産となっています。西洋館は、地域の歴史を知るための貴重な施設であるとともに、観光スポットと成り得る施設です。また、入間市駅から徒歩圏内という好立地にあり、周辺に市指定文化財である旧黒須銀行をはじめとした観光スポットが点在しています。

しかしながら、建物の経年劣化により魅力が薄れ、また、それぞれの歴史的遺産が点として存在しているため、地域の観光資源として生かされていないことが課題となっていました。

そこで、西洋館の大規模改修を実施し、シティセールスの拠点施設に位置付けて活用を図ることとしました。

【事業のPRポイント】

- ドラマ・CM・映画等のロケ地として活用された建物を見学することができます。
- 大正時代の雰囲気の色濃く残す館内でのコンサートや展示会の鑑賞、新たに喫茶を楽しめます。
- 入間市駅から徒歩圏内という好立地にあり、周辺には西洋館だけでなく、旧黒須銀行等の市の近代史を象徴する文化財等が点在していることから、近代史遺産を散策することが出来ます。

【事業実績・成果・今後の展開】

＜平成 29 年度＞

- 西洋館の改修に取り組みます。屋根等の外部改修とともに、破損や汚れが目立つ内部空間の改修、来館者や施設利用者の利便性を高めるための男女別トイレの設置、また、喫茶室の実施に必要な多目的キッチンの整備工事等を一体的に行います。

＜今後の展開＞

- ギャラリーやドラマ・CM・映画等のロケ地としての活用を促進します。

- コンサートや展示会、西洋館や入間市の歴史・文化に関する講座や講演会を定期的を開催することで、西洋館の魅力を発信します。
- 新たに喫茶室を整備することで、新たな来館者、利用者を創出します。
- 周辺に旧黒須銀行等の市の近代史を象徴する文化財等が点在していることから、西洋館を中心に、それらを有機的に結び付けた近代史散策コースとして新たな観光ルートを形成します。

【参考資料】

[入間市観光パンフレット](#)（入間市ホームページを御覧ください）

〔 連絡先 〕

博物館 文化財担当 04（2934）7711